

2. 地域で子どもを育てる住民の意識について

(3) 地区公民館における新しい地域づくり

【 事例6の特色 】

小山市間々田地区には、間々田地区公民館が事務局となり、20団体で構成された「住みよい間々田推進協議会」が設立されている。協議会は、総務、広報、子育て・青少年育成、福祉・健康、公民館・サークル活動、環境美化の6つの委員会から構成され、5日制対応事業については、子育て・青少年育成委員会と公民館・サークル活動委員会が中心となって地域全体で取り組んでいる。新しい地域づくりを目指し、中学生が公民館でボランティアとして活躍したり、大人たちがサークル活動等の学習成果を小・中学校で講師として発揮するなど、子どもと大人の交流をより積極的に深めようとしている。

《事例6》

事業名（市町村）	組織的な町づくり推進事業（小山市）
事業主体（実施機関）	住みよい間々田推進協議会
<p>【事業（施設）の概要及び特色】</p> <p>1. 目的 住みよい間々田づくりを目的に、下記の事業を推進する。</p> <p>(1) 各種ボランティア事業 (2) 子育てサロン事業 (3) 完全学校週5日制に対する事業 (4) 間々田地区社会福祉協議会の設立</p> <p>2. 概要及び特色 総務委員会、広報委員会、子育て・青少年育成委員会、福祉・健康委員会、公民館・サークル活動委員会、環境美化委員会の6つの委員会が構成され、互いに連携・協力しながら活動している。特に完全学校週5日制に対する事業に関しては、子育て・青少年育成委員会、公民館・サークル活動委員会が中心となり、地域全体で取り組んでいる。</p> <p>3. 取り組みによる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（地区）公民館事業の活性化を図ることができた。 ・ 各種団体がそれぞれに行っていた事業等が、目的をもって統合されてきた。 ・ 土曜日を中心に完全学校週5日制対応事業を展開することによって、（中学生を含めて）様々な人たちにボランティアとして活躍してもらえた。 <p>4. 今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達の活動を支援するプレイリーダーの養成 ・ 中学生が公民館ボランティアとして参加しやすい環境づくり（部活動との調整等） ・ ワークショップの手法を活かしたまちづくり 	

